

# 自然と生きて

2年

M・Y

私は裏磐梯に行って沢山きれいな植物や景色を見ることができました。私が調べてきた植物は、1つも見ることはできませんでした。

鎌沼と言う沼は、大きくてとてもきれいな沼でした。鎌沼には鳥がいました。その鳥は羽の部分に青色がはいっていました。人の近くに寄ってきてエサを欲しがらる姿は可愛かったです。

せまい道を通りながら歩いたり雨が降って土がドロドロになりすべりそうになりました。1日目は岩が沢山ある所だったので、歩くのは大変でした。裏磐梯から見る景色はきれいでした。疲れていることを忘れてしまうくらいきれいな景色でした。その景色を見たとき幸せになりました。

その場所とても高くてN先生は「今は雲の上にいるよ。」って教えてくれました。植物は、ハクサンチドリを見ることができました。ハクサンチドリは、自分が調べていた訳では、なかったけど見ることで嬉しかったです。

ハクサンチドリは沢山ありました。紫色でとてもきれいでした。ムツアカバナも見ることができました。この植物も調べてはいませんでした。ムツアカバナはピンクっぽくて少し紫色がはいっていました。形は少し桜の形をしていました。私が調べてきた植物は、1つも見ることはできなくて残念でした。けど、私が調べていない植物を見ることができたので良かったです。

倒木更新をみるすることができました。私は、倒木更新に少し興味がありました。けれど倒木更新について興味がわいたのは自然体験学習での最後の時だったので、調べることができませんでした。なので、倒木更新が見ることができて良かったです。倒木更新は切った、木の部分から新しい木が生えてくると言うものです。私は倒木更新を見て、「一生懸命生きようとしているのだろう。」と、思いました。

大きななめくじを見ました。普通のなめくじより10倍くらい大きななめくじでした。すごく大きくてびっくりしました。

動物の痕跡を見ることができました。リスの痕跡を見ることができました。リスが食べた後のくるみを見ることができました。キレイに半分に割れていました。今まで本当にリスは、くるみを半分にするのか？と、思っていました。

けど今回の林間学校でリスは本当に半分に割るとわかりました。疑問に思っていた事がわかったので良かったです。

キノコの食べ後もありました。リスかなにかが食べた後でした。「たべました」と言うような形がくっきりとのこっていました。

クマの痕跡では、クマがその場所で食事をしていたとわかる木が見られました。木が折れていました。クマが歩いた後がありました。クマの足跡は、クマが食事えおしていた場所

のすぐ近くでした。

クマの足跡は大きかったです。痕跡を見て私はやっぱり自然はいいなと、思いました。虫とか嫌だなと、思っていたけれど少しかわった虫などが見ることができるので良いと思いました。それに、虫がいなければ自然はキレイなものではないと思います。

私は、2日目にとても大きなショックを受けました。それは、ゴミが山の中に捨てられていたことです。私は、ショックでした。どうしてこう言うようなことをする人がいるのだろうと思いました。

自然は、植物や動物そして人が生きるため大切な場所です。なので、そう言う事をしないでほしいと、思いおもいます。私が、調べてきたことは、植物についてです。春、夏、秋の植物についてです。

春に咲く植物は、姫一華 {ひめいちげ} 4月～5月に咲く植物で、草丈が、5～10cm位そして花の大きさは、直径1cmと、とてもせいそで可憐な花です。

稚児百合 {ちごゆり} 5月～6月に咲く植物ユリ科で、小さいという意味 {稚児} の花なので名前が付けました。

采配蘭 {さいはいらん} 6月に咲く植物、戦国武将が戦いで振る采配に、似ていることから名前が突きました。

そして、私が最も見てみたかった水芭蕉 {みずばしょう} 4月～6月に咲く植物で花後の葉が芭蕉の葉に似ているので名前が付けました。毒があるので人は食べられません。

次に夏に咲く植物は、みつがしわ、5月～7月に咲く植物山地の沼に、生えている多年草の水草です。花の内側には、たくさんの毛がありとても奇妙な花の形です。

白山千鳥 {はくさんちどり} 6月～8月に咲く植物で花の形が、千鳥が飛んでいる形に、似ていることで名前がつけました。

谷空木 {たにうつぎ} 6月に咲く植物、裏磐梯全域でよく見られます。

磐梯鋏形 {ばんたいくわがた} 6月～7月に咲く植物で、磐梯山に咲く磐梯クワガタがその分類の基本になっています。

姫座禅草 {ひめざぜんそう} 6月に咲く植物で、花の高さは、3cm～5cm林間の湿地に生えています。



←白山千鳥

←水芭蕉

秋に咲く植物は、サラナリシュウナ9月～10月に咲く植物で、若芽をゆで水に晒して食べたことで、名前がつけました。コンビニがなかった時代に「菜」と言う字がつく植物は、食用としていました。

野紺菊 {のこんきぐ} 8月～11月に咲く植物で、伊藤左千夫さんの代表作「野菊の墓」の野菊とは、野紺菊、ゆうがきだ、かんとうよめな、などが立候補の様です。

吾木香 {われもこう} 8月～10月に咲く植物、止血の効果や殺菌力などがあります。柔らかに粘り強い村をついて蒸し、これを打撲の箇所にあてがい温布剤としていました。織田信長軍の軍薬として利用されていたそうです。

食べられる植物も調べました。食べられる植物は、小葉の冬苺 {のばのふゆいちご} 6月～7月に咲く花で、山野の林内に生えているつる性の常緑小です。

私が調べてきたものはこのようないろいろな植物です。



↑リスがたべた後のキノコ！美味しかったんだろなーと思います。



↑これは登山中に見つけたゴミです。これを見た時にはショックを受けました。こんなことしないでほしいと思います。

林間学校に行っていていろいろなことが学べたので、良かったです。自然の大切さがわかりました。そしてなにより自然がなきゃ人は生きていけないということがわかったので良かった。

たです。私達2学年は今回の林間学校ですばらしい物をもらいました。

今まで私達になかったものがもらえました。

これからもっといい学年にしていきたいです。

福島の人達は震災があつた中でも明るく元気に私たちをむかひいれてくれました。私は福島の人達のように明るく元気に生きていこうと思います。

自然を大切にしていこうと思います。